

第20章 大井氏館跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

本遺跡の名称は『埼玉の城館跡』(1972 埼玉県教育委員会)によるもので、平安時代末から鎌倉時代に活躍した武蔵七党の一つ、村山党の大井氏一族の館跡という想定による。遺跡は砂川堀左岸(北側)の舌状に張り出した微高地上、標高21~22mに立地し、西は川越街道に接している。砂川堀の対岸は段丘面を形成しており、比高差5mの崖になる。

遺跡の時期はAT降灰前の立川ローム層第IV層段階の石器群、縄文時代前期、中世、大井宿に関連した近世・近代まで多岐にわたる。

II 大井氏館跡遺跡第26地点

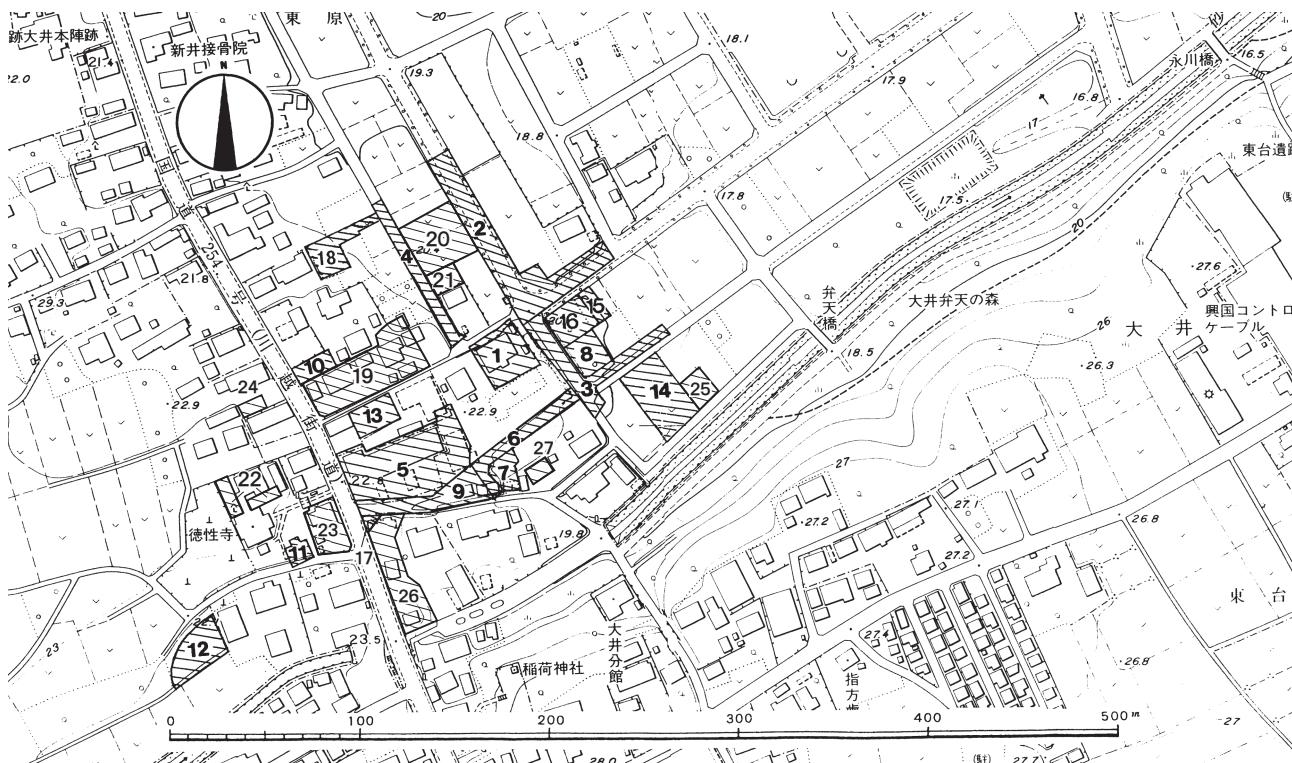
(1) 調査の概要

調査は貸店舗建設に伴うもので、原因者より2015年5月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじ

第48表 大井氏館跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1 2 3 6 8 9	大井212他	1988.6.24~1993.10.26	4,800	大井・苗間第一土地区画整理事業	旧石器時代-石器集中6、礫群14-石器、縄文時代-集石土坑1、土坑4-石器、土器、中近世-近世-地下式坑12、井戸2、土坑28、溝5、近世土坑14-國産陶器、舶載磁器、土師質土器、瓦質雜器類、石製品、板磚、金属製品、錢貨	調査会7
4		(1990.3.14~15)				—
5	大井	(1991.6.11~17) 1991.6.18~1993.4.6	2,220	店舗建設	縄文前期住居跡1、掘立建物跡、溝、前期中葉黒浜式土器、石器、陶磁器、磁石、銅錢、金属器、土製品	調査会5・町内I
7	大井241-1	(1992.6.2~17)	157	個人住宅	堀1、溝1、道路構造1、縄文土器、磁石、陶器	町内II
10	大井208-1、209-1、210-4	(1998.8.22) 1998.9.19~10.2	1,153.46	ガソリンスタンド	縄文時代落とし穴1、近世の近代土坑、近世近代掘立柱建物跡1、井戸1、溝1、ピット24、陶磁器、土器、瓦、石製品、金属製品、ガラス製品	町内VI・調査会12集
11	大井182	(1998.11.9~17)		個人住宅	近世~近代の土坑6、溝5、陶磁器、土師器、鉄製品、ガラス製品、土製品、錢貨	町内VIII
12	大井952	(1999.5.28~6.4) 1999.6.2~4	690	駐車場	溝5、陶磁器、錢貨、石器、鉄、瓦質土器、土師器	町内IX
13	大井1-8-1	(2000.11.21~24)	76	事務所	遺構遺物なし	町内X
14	大井苗間129街区2画地	(2002.5.22~6.6) 2002.6.20~8.9	984	共同住宅	中世の溝9、井戸1、掘立柱建物跡、地下式坑1、茶毬跡6、土坑24、ピット	町内XII
15	大井苗間126街区1画地	(2002.7.24~8.2)	135	個人住宅	溝1、ピット4	町内XII
16	大井2-242-1	(2002.8.5~22) 2002.8.23~9.5	677	個人住宅	縄文時代の集石4、土坑1、ピット14	町内XII
17	大井1-11-9	2002.11.19~12.2	50	道路	近世~近代の土坑14、ピット13、磁石、錢貨	町内XII
18	大井・苗間80-6-9	(2003.1.17~22)	476	個人住宅	溝2、陶磁器、ミニチュア土器、ガラス瓶	町内XII
19	大井1-6-13	(2005.6.7~8)	1,500	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
20	大井1-7-7	(2006.3.2~14)	773	共同住宅	時期不明の溝12、ピット21、縄文土器、陶器	市内2
21	大井1-7-15	(2006.5.22)	174	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
22	大井字西原954-1	(2007.11.27~12.1)	1,962	寺院庫裏建設	礎石3、土坑4、ピット25、近代陶磁器、石製品	市内4
23	大井字西原955-1、956-1	(2012.11.7~9) 2012.11.12~14	502.82	専用住宅	近世~近代の土坑10、近世~近代の陶磁器、土器、ガラス製品、石製品、錢貨、木製品等	市内15
24	大井字西原959、960	(2014.6.23) 2014.6.25	68.55	宅地	土坑(ごみ穴)1、近世陶磁器、瓦他	市内20
25	大井2-14-13の一部	(2014.12.15)	414	畠	遺構遺物なし	市内20
26	大井1-11-1~2他	(2015.6.1)	993.73	宅地	遺構なし、磁石3	市内22
27	大井1-9-5の一部	(2016.9.12)	301	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

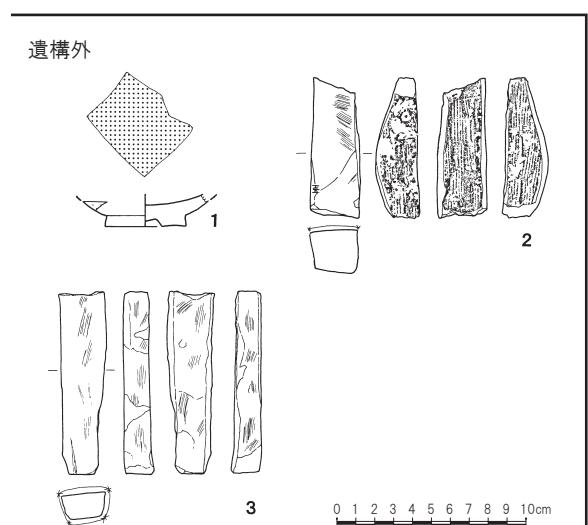
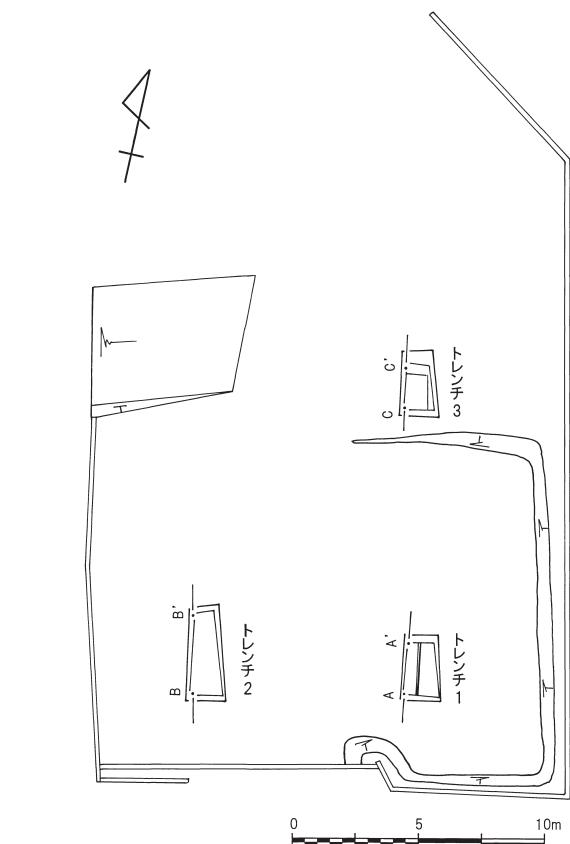
※町:大井町内遺跡群、調査:大井町遺跡調査会報告、市内:ふじみ野市市内遺跡群



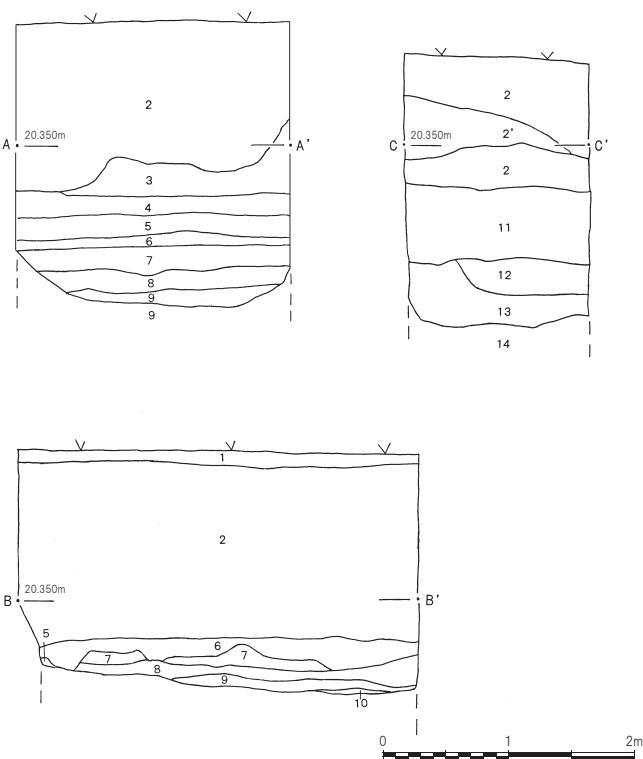
第80図 大井氏館跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

み野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月1日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5mのトレント3本を設定し、重機で表土除去後、人力により表面精査を行った。

調査の結果、表土層が厚く堆積しており、現地表面から2m下まで掘削したが地山ローム層は確認できなかった。遺構は確認されなかつたため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



表土中より陶器片1点と砥石2点が、現地表面から1.7~2.1m下の焼土と炭化物を含む層から出土した。1は瀬戸・美濃産の陶器碗の底部である。底径4.3cm、高台幅が1.3cmである。底部を除いた内外面に鉄釉を施す。18世紀後半~19世紀前半に帰属する。2・3はどちらも流紋岩製の砥石である。2は長さ7.4cm、幅2.7cm、厚さ2.3cm、重量67.9gで灰色を呈する。3側面に櫛目状成形痕が認められる。3は長さ9.6cm、幅2.4cm、厚さ1.4cm、重量56.78gで灰白色を呈する。上州産である。



1. 灰色碎石層
2. 黒褐色・暗褐色土 締り強、粘性やや弱、5cm以下ロームブロック・15cm以下多く含む、アスファルト塊伴う、内容物は似るが、トレント1は黒褐色、現代の盛土
- 2'. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、シミ状に黒褐色土含むが、緻密な堆積、5~30mmの礫少し含む、盛土
3. 黑褐色土 締り有、粘性有、5mm未満ローム粒少し含む、4層との境に5cm以下の礫やや多く含む、盛土
4. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、厚さ2cmで黒褐色土の間層を複数挟む、盛土
5. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック・粒やや多く含む、盛土
6. 暗黄灰色土 硬く締る、粘性有、6cm以下ロームブロック・粒多く含む、盛土
7. 黑褐色土 締り強、粘性有、黄灰色味が有る、5~30mmロームブロック・黒色土ブロック少しありや多く含む、盛土
8. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、5~70mmロームブロック・5mm未満ローム粒多く、2cm以下焼土・1cm以下炭やや多く含む、盛土
9. 黑褐色土 締り有、粘性有、3cm以下ロームブロック・2cm以下焼土・6cm以下炭多く含む、明治の大火灾に関係する可能性がある
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下焼土・炭・5mm未満砂礫少し含む、比較的混入物少ない、盛土
11. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、6cm以下ロームブロック・粒多く含む、2cm以下焼土・炭化物少し含む
12. 黑褐色土 締り有、粘性有、2cm以下ロームブロック・粒少し含む
13. 黑褐色土 締り有、粘性有、12層より色調異なるめ、5mm未満ローム粒少し含む
14. 黑褐色土 締り強、粘性有、13層より黒色味が有る、3mm以下ローム粒・5~20mmロームブロックやや多く含む

第81図 大井氏館跡遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/60)、出土遺物(1/4)



大井氏館跡遺跡第 26 地点調査風景



大井氏館跡遺跡第 26 地点

遺構外



大井氏館跡遺跡第 26 地点出土遺物